

| | |
|-------------------|--|
| 科目コード | N410 |
| 授業科目名 | 総合技術演習Ⅱ |
| 授業科目名（英文） | Objective Structured Clinical Examination Ⅱ |
| 講義室等 | 1103、他 |
| 学科 | 看護学科 |
| 対象学年 | 4年 |
| 開講学期 | 後学期 |
| 必修・選択の別 | 選択 |
| 単位数 | 1 |
| 時間数 | 15 |
| 該当ディプロマ | ◎看DP-2 |
| 該当コンピテンス | ◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-7 |
| 学科 | |
| 対象学年 | |
| 開講学期 | |
| 必修・選択の別 | |
| 単位数 | |
| 時間数 | |
| 該当ディプロマ | |
| 該当コンピテンス | |
| 担当教員 | 教務部長 |
| 授業の概要 | 多様な場や状況、対象の多様性や複雑性に対応できる看護実践能力の習得を目指し、これまでの臨地実習では経験が難しい看護実践の場や状況を想定した演習を行う。また、演習の振り返りを通して、社会から期待される看護専門職の役割を学修し、自己の課題を明確にする。 |
| 授業の到達目標 (学修効果) | <ol style="list-style-type: none"> 看護が提供される多様な場の特性、場に応じた看護の在り方と方法について理解できる。 様々な場面での判断と状況に対応できる看護実践能力を修得できる。 多職種連携の必要性とチームの中での看護の役割を理解できる。 必要な社会資源と看護の役割を説明、考察できる。 必要なケアを新たに創造する必要性が理解できる。 看護専門職としての自己の課題を明確にできる。 |
| 予習復習の所要時間 | 講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間 |
| 成績評価方法 | 演習への参加状況(40%)、レポート内容(60%)を総合的に判断し、60点以上を合格とする。 |
| 教科書 | これまで使用したすべての教科書、参考書、授業資料等 |
| 参考書 | これまで使用したすべての教科書、参考書、授業資料等 |
| その他 | |

非常勤講師(学内: 1 学外: 2)

| 回 | 年月日 | 曜日 | 時限 | 授業項目 | 授業の形態 | 講師 | 非常勤 | 備考 |
|---|----------|----|-----|--|------------------|-----------|-----|----|
| 1 | R7.10.3 | 金 | III | オリエンテーション 予習 自己の看護職像をまとめる 復習 学習課題 | 講義 | 教務部長 | | |
| 2 | R7.10.3 | 金 | IV | 課題学習: グループワーク・個人ワーク 予習 配付資料を読む、課題学習をする 復習 学習課題 | グループワーク・個人ワーク | 教務部長 | | |
| 3 | R7.10.10 | 金 | III | シミュレーション演習 (1) 予習 演習の事前学習 復習 学習課題 | 演習 | 教務部長 | | |
| 4 | R7.10.10 | 金 | IV | シミュレーション演習 (2) , 振り返り 予習 演習の事前学習 復習 学習課題 | 演習・グループワーク・個人ワーク | 教務部長 | | |
| 5 | R7.10.17 | 金 | III | 課題学習: グループワーク・個人ワーク 予習 配付資料を読む、事前学習をする 復習 学習課題 | 演習 | 教務部長 | | |
| 6 | R7.10.17 | 金 | IV | 課題学習: グループワーク・個人ワーク 予習 配付資料を読む、事前学習をする 復習 学習課題 | 演習・グループワーク・個人ワーク | 教務部長 | | |
| 7 | R7.10.24 | 金 | III | 事例演習 (1) 予習 演習の事前学習 復習 学習課題 | 演習 | 教務部長 他 | | |
| 8 | R7.10.24 | 金 | IV | 事例演習 (2) , 振り返り 予習 演習の事前学習 復習 学習課題 | 演習・グループワーク・個人ワーク | 教務部長 他 | | |